広済寺寺報

発行　浄土真宗本願寺派　福田山　廣済寺
〒933－0344　富山県高岡市笹川98　TEL(FAX)　0766－31－0096
E-Mail　info@kosaiji.net　ホームページ　https://kosaiji.net/

今号の内容

・永代経の新企画♪
・輪灯・菊灯がLEDになりました
・千夏のきときと日記
・住職コラム
・七月八日(土)の初参式にお参りください

法座のご案内

六月三日(土)・四日(日)
午前九時半・午後一時半より
永代祠堂経法要
※昼食にお斎を用意しております

今号の法語

うばい合えば
足らぬ
わけ合えば
あまる
相田みつを

今回の法語は、詩人である相田みつをさんの言葉。独特な書体で書かれた詩で有名ですよね。

さて、「遠慮のかたまり」という言葉があります。大皿に一個だけ残ってしまう、あのおかずのこと。一人一人の遠慮(気遣い)が詰まった表れでしょうから、なんとも上手な言い回しですよね。

人間は分け合うことができるはずなのに、奪い合い続けてきた歴史があります。大切なものこそ、「分け合う」ことが必要なのではないでしょうか。

昔の人は、あらゆるものが仏さまからの授かりものだと受けとめたそうです。仏さまからお預りしたものだからこそ、皆で分け合っていくんだという精神です。

物や土地ばかりでなく、尊い命に対しても、皆で大切にしていくということを忘れないようにしていきたいですね。

永代経の新企画♪

おかげさまで、いよいよお寺の永代経も二日間おつとめできることになりました。役員の方々と相談し、せっかく久しぶりに二日間するのだから、いろいろ新たな試みをしていこうという話になりました。

お斎（食事）も復活することになり、午後の法座の時間を繰り上げ、報恩講と同じ午後一時半からに。お昼の時間は、二階の僧侶控え間を開放し、風情ある空間をご門徒の皆さんにも味わっていただければと思っています。

二階の欄干越しに庭を眺める

また二日目午後の法座は、おなじみ岡西先生に何でも質問させていただく時間になりました！仏教についてのことから日頃のちょっとしたことまで、ぜひ聞いてみてください。匿名で事前に紙に書いて質問箱に入れてもらっても大丈夫です。

せっかくお寺にお参りくださるんです。これからも皆さんのお声をいただきながら、いろいろ試みさせてください！

輪灯・菊灯がLEDになりました

皆さんのお仏壇の輪灯は電球ですか？今ではお寺も含め、ほとんどのお宅が電球になっています。

元々は、灯明皿といわれるお皿に油を注ぎ、そこに浸した灯芯に火をつけ、それを灯りにしていました。今でも昔ながらの灯明皿を仏壇の灯りにしているお宅もあるんですよ。

時代の流れと共に安全な電球になっていったのですが、あのなんともいえない火のゆらぎに温かみを感じたものです。

今回お寺の灯明もLEDとなり、そして昔ながらの火のゆらぎを表現したものになりました。ちょっとしたことですが、温かみがでたように思います。ぜひご覧になってくださいね。

QRコード

学芸員さんによる昔の灯りの解説

千夏のきときと日記

皆さん、毎日の楽しみは何ですか？私をはじめ、家族みんなの最近の楽しみは、もっぱら大相撲です。五月十四日から五月場所が始まり、富山県出身力士の朝乃山関も幕内に戻ってきてくれて大活躍中です。毎日夕飯時の会話は、必ずおばあちゃん(前坊守)に「今日勝ったけ？」と聞くのが定番です。勝った日は家族中大盛り上がり。娘も相撲の時期になると、力士のマネをして遊んでいます。この寺報が皆さんの手元に届く頃には千秋楽を迎え、結果がどうなっているのか楽しみです。

そんな朝乃山関ですが、皆さんご存じの通り、大関の立場でのコロナ禍のコンプライアンス違反などを問われ、六場所の出場停止と減給の懲戒処分を受けました。厳しい処分を受け入れ、また土俵に戻ってきて新たにファンになった方もおられるし、絶対に許せない方もおられたのではないかとも思います。

毎年お配りしている真宗教団連合の去年のカレンダーに、

「ふみはずしましたが　気がつけばここも　仏の道でございました」という法語がありました。人生の中で、失敗したり、恥をかいたり、ふみはずすことは誰でも経験されたことではないかと思います。その時にふみはずした今を受け入れ、その痛みに気付くことが大切だと言われています。ふみはずした時でも、支えてくださる仏さまの道を用意してくださっていることをありがたく思える法語でした。

住職コラム

本堂の前の二本の銀杏もびっしり新緑に覆われて、いよいよ夏近し。

五月十六日に本願寺の大法要「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」に、坊守と参拝させていただきました。御堂は大勢の参拝者でいっぱいです。久しぶりの本願寺でしたが、御門主様や前門主様のお姿は分かっても、後は知らない方ばかり。本願寺を退職して早四十年を過ぎており、当然ですね。

法要では、今までと違って法要中の動きがモニターで解説される等、初めての方や若い方々に大変分かりやすく、新鮮に感じました。

法要の後は西大谷本廟にもお参りし、特急サンダーバードに乗車、そして新幹線に乗り換えてバタバタと帰り着きました。ステッキを頼りに歩行しているので、新高岡駅に着くとホッとします。

この年齢になり次のお参りはいつになるのかと考えると、とても有難いご縁に恵まれた参拝となりました。　合掌

7/8（土）の初参式にお参りください

七月八日（土）午前十時半より、広済寺において初参式を行います。前回から実に五年ぶり。待ちに待った開催です。

初参式とは、赤ちゃんの誕生をよろこび、新たな「いのち」の出発に当たって、心の支えとなってくださる仏さまにお参りさせていただくという儀式です。

新たな「いのち」の出発点は、同時に親にとっても、「親」として生きる新しい出発点でもありました。

ぜひご家族そろって新しい「いのち」の始まりの仏縁をよろこばせていただきましょう。

時間は、昼前までのおよそ一時間。後半には、将来二十歳を迎えるお子さんに向けて、ご家族の願いを手紙にする「願いの手紙」を企画しています。お手紙はお寺の阿弥陀様のもとにお供えし保管し、将来にお子さんがそのお手紙を読み返す中で、皆に願われた「いのち」であったことを振り返るご縁になればと考えております。

参加費はお子さま一人一〇〇〇円です。ご家族の方は、仏さまにお参りするため、お念珠を忘れずにお持ちください。

子供たちの対象は小学生までとしています。毎回賑やかな中での初参式になっておりますので、ご門徒問わずどなたでもご参加くださいね。

お知らせ

令和五年

永代祠堂経法要

六月三日（土）・四日（日）

午前九時半より

午後一時半より

御講師

五位組　教願寺

岡西　法英　師

初参式

七月八日（土）

午前十時半より

編集後記

およそ三年半になるコロナ禍。久々に遠距離移動をすると、いろいろ新しいものが始まっていてビックリします。

先日、東京に行くご縁がありました。いつ以来かもわからない、北陸新幹線。乗ってから知ったのですが、今はスマホでタッチするだけで乗れるとのこと。チケットレス。デジタル時代ですね。

またTRAIN DESKという座席もありました。何も知らない私は、「お洒落な席なのかな」と思って予約すると、どうやら仕事や勉強が優先の車両だったよう。面白いのは、単に静かな車両というのではなく、座席で電話やオンライン会議ができるとのこと。声を出してもいいのなら、一般車両と同じじゃないかと田舎者の考えをしてしまいました。

いつの間にか、世の中は新たな感性を取り入れながら動き出しています。ちょっと浦島太郎の気分でした。